



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY

# G8 DIALOGUE SERIES

The Group of Eight Japan Summit, Hokkaido Toyako, July 2008

国連大学高等研究所 (UNU-IAS) 主催

## 国際保健 ( グローバルヘルス ) : その達成には何が必要か ?

2008年4月16日 (水) 午後4時~5時30分

国連大学エリザベス・ローズ会議場

東京都渋谷区神宮前5-53-70

講演者: 黒川 清 (内閣特別顧問、政策研究大学院大学教授)

プログラム: 4:00 - 4:10 開会挨拶 : A.H. ザクリ (国連大学高等研究所所長)  
4:10 - 5:00 講演 : 黒川 清氏  
5:00 - 5:30 質疑応答及び討議

言語: 英語・日本語

世界保健機関 (WHO) により提唱された「Health for All (すべての人に健康を)」達成目標年から8年が経過し、この目標はいまだ達成困難のように思われます。特に途上国において顕著な感染症の再流行は、気温の上昇、ライフスタイルの変化、十分でない栄養、医療施設への不十分なアクセスといった要因により助長され、全人類を懸念させる主な原因となっています。グローバル化された世界においては、国境をまたぐ移動は一層増加しつつあり、これらの問題はもはや各国家の領土内に限られたものではなくなっています。

国際保健 (グローバルヘルス) を達成するためには、先進国の経済、また、達成のために必要な能力や技術を有する、先進国内の科学者による積極的な介入が重要であると黒川氏は主張します。さらに、これらをより有効に進めていくためには、草の根レベルの団体と途上国政府とが連携して取り組んでいく必要があるとしています。

### 講師略歴

内閣特別顧問、政策研究大学院大学教授、日本学術会議前会長。

東京大学医学部卒業。同大学院医学研究科修了 (医学博士)。1969-84 在米、ペンシルバニア大学医学部助手、1979年カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) UCLA 医学部内科教授、89年東京大学医学部第一内科教授、96年東海大学医学部長、東京大学先端科学技術研究センター客員教授他を経て現職。Inter Academy Council、International Council of Science 等の国際科学者連合体の役員、委員を務め、幅広い分野で活躍。2003-2007年日本学術会議会長、内閣府総合学術会議議員、イノベーション25戦略会議座長。Institute of Medicine of National Academies USA、米国内科学会マスター等。また、日本医療政策機構-医療改革に取り組む中立的なシンクタンクであり、先日、世界銀行とゲイツ財団と共に「グローバル・ヘルス・サミット; TICAD、G8そしてその後に向けて」を開催-の創業者、代表理事。主な著書「世界級キャリアのつくり方」(東洋経済新報社)、「大学病院革命」(日経BP社)、「イノベーション思考法」(PHP出版)他。

参加をご希望される方は、メール ([reception@ias.unu.edu](mailto:reception@ias.unu.edu)) または、お電話 (+81-45-221-2300) にて登録をお願いいたします。

また、詳細は、レイチェル・シュティ ([Schutte@ias.unu.edu](mailto:Schutte@ias.unu.edu)) までお問合せください。